

## 第15回 再処理・リサイクル部会セミナーのご案内

### テーマ 『住民、地元との対話活動／リスクコミュニケーション』

主催 日本原子力学会 再処理・リサイクル部会

#### 開催趣旨

現在、核燃料サイクル施設では原子力規制委員会による新規制基準適合性審査が行われているところですが、核燃料サイクル事業を進めるにあたっては、国民、特に立地・周辺地域の住民・地元の方々との信頼関係の構築が大切必要であります。そのためには、福島第一原子力発電所事故の反省にもたって、対話活動等を通じて、核燃料サイクルの必要性、安全対策、リスク等についての関係者間の相互理解が必要です。

再処理・リサイクル部会では、令和で最初に開催する再処理・リサイクル部会セミナーのテーマに「住民、地元との対話活動／リスクコミュニケーション」を設定し、様々な観点から住民、地元の方々との対話活動およびリスクコミュニケーションのあり方について講演を設け、議論することしました。

参加者の皆様の今後の取り組みの一助となることを期待します。

日時 令和 元年12月10日(火) 9:50～

場所 東京大学 山上会館 2階大会議室

〒113-8654 東京都文京区本郷(東京大学本郷キャンパス構内)

最寄駅：東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅から徒歩で約15分

※地図、交通アクセスにつきましては、次のアドレスにてご確認ください。

- ・本郷地区アクセスマップ

[https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01\\_02.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01_02.html)

- ・本郷地区山上会館キャンパスマップ

[https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_00\\_02\\_j.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html)

#### 【プログラム】

1. 開会挨拶

9:50～10:00

松田 孝司 部会長

## 2. 基調講演

『コミュニケーションの基本：「私」が「私たち」になるとき』 10：00～11：00  
青山学院大学 教授 岸田 一隆 氏

## 3. テーマ講演

『共生社会の実現に向けた取組み ～今やるべきこととは～』 11：00～12：00  
六ヶ所村商工会 会長 種市 治雄 氏

～ 昼 食 ～ 12：00～12：40

4. ポスターセッション & Coffee Break (会場：2階ホワイエ) 12：40～14：30

## 5. 特別講演

『高レベル放射性廃棄物の地層処分場立地可能性調査の受け入れ地域を  
求めての対話活動』 14：30～15：30  
原子力発電環境整備機構 理事長 近藤 駿介 氏

6. パネル討論 15：30～17：00

(司会) 再処理・リサイクル部会 副部会長 鈴木 達也  
原子力発電環境整備機構 理事長 近藤 駿介 氏  
青山学院大学 教授 岸田 一隆 氏  
六ヶ所村商工会 会長 種市 治雄 氏  
電力中央研究所 名誉研究アドバイザー 井上 正 氏  
再処理・リサイクル部会 部会長 松田 孝司

## 7. ポスター賞表彰

17：00～17：10

## 8. 閉会挨拶

17：10～17：20

鈴木 達也 副部会長

懇親会 (山上会館地下1階食堂)

17：30～

## 参加費

日本原子力学会 正会員：5,000円(不課税)、シルバー会員：3,000円(不課税)、  
非会員：10,000円(税込)、学生：無料

※賛助会員団体のご所属であってもご本人が非会員の場合は非会員でお申し込みください。

※支払い方法：当日会場において、受付時に現金にてお支払いください。

## 懇親会参加費

原子力学会 正会員、シルバー会員、非会員：3,000 円（税込）、学生：1,000 円（税込）

## ご参加のお申込み

○ 以下の項目を明記し、下記担当者まで E-mail でお申込み下さい。

- ① ご所属
- ② ご芳名
- ③ 会員区分（正会員・シルバー会員・学生会員・非会員・学生非会員）
- ④ 会員番号（会員の方のみ）
- ⑤ 懇親会ご参加の有無
- ⑥ E-mail アドレス

○ 申込先

日本原子力研究開発機構 栗飯原 はるか

E-mail: aihara.haruka@jaea.go.jp

○ 申込締切 令和元年 11 月 29 日（金）

## 学生参加者への交通費補助について

- 学生参加者へセミナー参加にかかる交通費を補助することができます。希望する方は、参加申込み時の E-mail にその事を記載してください。
- 公共交通機関以外（自家用車など）を利用した場合は、旅費の補助はできません。
- 補助人数は 10 名程度、補助額は 1 名あたり 8 万円を上限とした実費（ただし、学割料金を適用）とします。
- 人数及び補助額は、応募者数に応じて変更される可能性があります。また応募者多数の場合は、ポスター発表者を優先させていただきます。
- セミナー終了後、速やかに領収書等を提出していただきます。

## ポスターセッションのご案内

○ポスターについて

サイズ A0サイズ（横90cm×縦180cm）まで・・・当日持込

対象分野 1. 人材育成／各大学の原子力教育取り組み

2. 長期戦略／国際展開

3. 住民、地元との対話活動／リスクコミュニケーション

4. 部会、連絡会の活動状況

5. 民間基準、学会基準作成の取り組み

6. 廃棄物処分

7. 分離変換研究、サイクル研究

8. ガラス固化技術研究

9. ホット施設の運転・保守・補修技術

10. 福島県における環境修復、燃料デブリ等

11. その他

○ポスター発表の申込み

E-mailにて以下の項目を記載のうえ、事務局までお申込み下さい。

- ①題目
- ②概要
- ③対象分野
- ④代表者氏名・所属（※学生の方は、所属の後に【学生】と記載願います。）
- ⑤共著者氏名・所属
- ⑥連絡先 E-mail アドレス
- ⑦ポスター原稿のウェブサイト掲載可否

事前送付いただいた概要等を差し替える場合は、事務局まで連絡ください。

○ポスター発表の申込先（事務局）

三菱マテリアル(株) エネルギー事業センター原子力安全設計部  
福田 達弥

E-mail: fukudatt@mmc.co.jp

○申込締切 令和元年12月3日（火） ※予稿は必要ありません

○ポスター原稿のホームページ掲載について

ポスター原稿の掲載可を回答いただいた原稿は、セミナー終了後、再処理・リサイクル部会ホームページに掲載させていただきます。セミナー開催後、令和元年12月17日（火）までにポスター原稿を事務局にご送付下さい。

ファイル形式：PDF、MS-WORD 又は PowerPoint

○ポスター発表に係る表彰について

優秀なポスター発表 数件に対して、部会からの表彰を行います。

### CPD プログラムへの参加

日本原子力学会では、原子力に携わる技術者・研究者は、倫理にもとることなく知識、技能、能力を常に高めることにより、原子力の利用に関する社会からの付託に応えなければならないとの考えから、各個人の継続研鑽を奨励するために日本原子力学会教育委員推奨 CPD (Continuing Professional Development) プログラムが推進されています。本セミナーは当プログラムの指定を受けることになっており、学会員の方についてはセミナー終了後に「CPD 受講証明書」が発行されます。

以上